

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	西崎 有多子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

前期の「専門演習I」に引き続き、小学校入学前の子どもたちに楽しく英語を教えらるるよう、言語習得の観点から指導法と教材・教材開発を学ぶ。そのために必要な総合的英語力と背景知識、合わせて基礎学力・文章力の向上を目指す。海外のウェブサイトから、必要に応じて様々な情報を得る方法を学ぶ。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	入門期の英語教育、小学校英語教育における基本的な教材を知り、体験を通して指導法を学ぶ。グループワークで模擬授業を行う、英語絵本の読み聞かせなどのプレゼンテーション等、実習も多く取り入れて、体験的に学ぶ。英語、英語圏についての知識や文化について、自ら調べることにより、より深い理解と知識を得る。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	英語で夏休み報告	英語で夏休みの思い出についてスピーチをし、質疑応答を行う。	<input type="checkbox"/>
第2回	シャドウイングの基本練習と絵本の読み聞かせ	英語力向上のためのシャドウイングの方法を学び、絵本を使って練習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	スモールトーク(1)基本	スモールトーク(1)のコツを学ぶ	<input type="checkbox"/>
第4回	スモールトーク(2)実践	スモールトーク(2)を練習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	幼稚園・小学校における動画による授業観察	幼稚園または小学校で外国語活動の動画で授業参観をする。レポートを書く(1)。	<input type="checkbox"/>
第6回	英語辞書の活用法、スモールトーク(3)言い換え	英語辞書の種類を知り、ネット辞書を含めて活用法を実習する。スモールトーク(3)を練習する。	<input type="checkbox"/>
第7回	言語としての英語、スモールトーク(4)質問	英語の成り立ち、歴史、種類等について学ぶ。スモールトーク(4)を練習する。	<input type="checkbox"/>
第8回	小学校研究発表会への参加	小学校の研究発表会に参加し、研究授業から学ぶ機会とする。レポートを書く(2)。	<input type="checkbox"/>
第9回	発音記号とリダクション、ジングル等、文章の書き方(1)	英語の発音、リダクション・ジングル等の練習をする。小論文を書く(1)。	<input type="checkbox"/>
第10回	文字指導を楽しくする工夫、文章の書き方(2)	文字指導の導入方法を学ぶ。小論文を書く(2)	<input type="checkbox"/>
第11回	英語を教えるための英文法、教員採用試験(1)分析	小学校英語の指導に必要な英文法を確認する。教員採用試験を分析する。	<input type="checkbox"/>
第12回	教材研究、教員採用試験(2)実践	教材研究を行い、オリジナル教材について計画する。	<input type="checkbox"/>
第13回	小学校現場を知る	小学校現職教員を招いて、現場について語っていただく。	<input type="checkbox"/>
第14回	オリジナル教材の作成	オリジナル教材を作成する。	<input type="checkbox"/>
第15回	文字指導を含む模擬授業	文字指導を含む学んだ教材等を使って、模擬授業形式で発表する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前に各自で2時間程度、教材や資料を読み込み、関連した情報をインターネット等で得て、授業内で発表できる準備をする。授業後に各自で2時間程度、授業内容を振り返り、疑問点がないか確認する。授業で学んだ教材の活用方法を考え、次の授業でディスカッションできる準備をする。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

絵本の英語での読み聞かせ・発音練習・模擬授業では、可能な場合は録画を行い、学生たちが自らの発表を客観的に観て意見を出し合うことにより再度練習し、改善に向けてのフィードバックを行なう。文章力育成のための作文、添削等を行なう。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	小学校現場の理解を深め、現職の教員から話しを聞いて、問題意識を持つことができる。英語の発音の知識、リダクションを理解し、発音できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	英和辞典を活用し、別の英語での言い換えができる。文字指導の基本と特徴を理解し、教材を作成することができる。
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	スモール・トークの基本を理解し、会話を組み立てることができる教材研究に基づいたオリジナルの指導案を書くことができる。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内小テスト 20%、提出物、発表、実技、積極度自発的取り組み 80% 課題は提出期限に遅れるほど減点する。基準の詳細は授業内で説明する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	前田安正『マジ、文章書けないんだけど』大和書房	978-4-479-79586-5
2	文部科学省『小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック』	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		